

間伐材で安全で安心な生活を！

～ 地域普及に向けて ～

愛知県立田口高等学校 林業科

私たちの学ぶ田口高校は、奥三河、北設楽郡にある唯一の県立高校です。田口高校では、2泊3日の演習林実習を年間6回、計18日間実施し、植林、下刈り、枝打ち、間伐等、森林保育について学習を行っています。実習で伐り出される間伐材を有効に活用したいと考え、以前より炭焼き、プランター作り、菌床栽培実験などに取り組んできました。4年前より間伐材、特に捨てられがちな根曲がり材を使い、地震で家具が転倒するのを防ぐ器具の研究を行ってきました。

昨年までは右記の機能の頭文字をとり、ハギーBOXと名付けた家具転倒防止器具に取



Humidifier : 湿気コントロール
Aromatic : アロマ(消臭)
Green ecofriendly : 環境に優しい間伐
Earthquake safe : 耐震性

り組み、農業クラブプロジェクト発表愛知県大会においては、最優秀を獲得しました。そして今回、新たに家具転倒防止器具「マモール」を開発しました。

製品名は、身を守る、安全な生活を守る、ということから「マモール」としました。最近は頻りに地震が発生しており、いつ大きな地震が来るか分かりません。少しでも、多くの人たちが安心して暮せるようにとの願いが込められています。



このマモールは、昨年豊橋市主催高校生技術アイデア賞に出したところ奨励賞を受賞できました。HAGE-BOXより



り低コストにするために、ヒノキ・スギの直径30cm以下の通常商品価値のない材(根曲がり材)を使って制作をしており、厚み2cm、幅10cmあれば制作が可能となります。ヒノキの木製ボトルを伸ばして、天井と家具の隙間をつばらせば家具の転倒を防ぐことができます。地震体験車両なまず号での実験結果、震度7まで耐える強度も証明され十分安全性があります。

性があります。

「マモール」をまず地域から普及させていこうと思い、設楽町役場、愛厚ホーム、設楽中学校、津具中学校、豊根中学校に設置をさせていただいています。



今後、地域施設への設置を推進し地域の皆さんに、安全な暮らしを提案していきたいと考えています。また、地域企業と提携し、大量生産を実現させることにより、マモールをより低価格で提供できると考えています。安全な暮らしの確保と、少しでも木材の需要を伸ばし、林業の低迷を打開する、一助となればと考えています。私たち、田口高校林業科は、これからも研究に取り組んでいきます。

* 農業クラブとは……全国の高等学校の農林業に関する学科で学ぶ生徒が、自主的な活動を通して主体的な学習活動を進めるための組織で、各科に所属する生徒全員がクラブ員です。